

作物のTSWV検査

〈対象作物〉

野菜類、花き類、タバコ

TSWV

- 病原** トマト黄化えそウイルス：
TSWV (*Tomato spotted wilt virus*)
- 感染** ウイルスを保毒したアザミウマ類が摂食して媒介する。
- 症状** 葉に退緑斑点、えそ輪紋などを生じ、進行すると黄化・褐変、枯死する。
茎にえそ条斑を生じる。果実の奇形、えそ斑点などを生じる。
- 主な病害** ●トマト・ナス・ピーマン：黄化えそ病
●キク：えそ病 ●花き：黄化えそ病
●キュウリ・トウガン：ウィルス病 等



ミニトマト 黄化えそ病



アルストロメリア 黄化えそ病



ミニトマト果実 黄化えそ病



アスター TSWV による病害

このような場合におすすめです！

- ・作物に上記症状がみられる
- ・圃場内や圃場周辺にアザミウマ類が発生している
- ・普段発生したことのない症状の斑点や枯れがみられる

検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

TSWV 感染検査のみ

・地上部全体

発症した、もしくは検査を希望する症状がみられる植物体の地上部を袋に入れ密閉する。なお、地際のを切断する際は、清潔な刃物を使用し、切り口は十分湿らせたティッシュで包む。

TSWV 以外の病害も診断する場合

・根を含む株全体

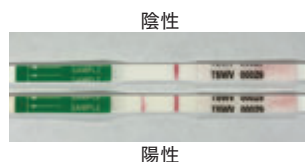
土壌が茎葉部に付着しないよう、根を湿らせた紙で包んでビニール袋に入れ、更に株全体をビニール袋に入れ密閉する。具体的な手順は、「病害虫診断 検体の送付方法」をご参照ください。



検査の方法

【イムノクロマト法】

イムノクロマト検査キットを使用して検査します。



報告書

- ・病原ウイルスの感染を検査したうえで、最適な対応策をご提案します。
- ・検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

注意事項

乾燥・枯死した検体は、検査できません。

